

第18回【合格体験記】

偏差値48の高校から、学習院大学・法学部に合格!

今回インタビューするのは、当記事の第1回でも登場していただいた、松戸二十世紀が丘校に通う高校3年生のU君。

第1回でのインタビューで語っていた、上位大学の法学部への合格を果たしたという。

Q合格までに取り組んだことはどんなことでしたか？

A私は、学習において最も重要なことは、問題を解くことでは無く、解いた上で自分の欠点を見つけ出すことであると考えます。この考えに従って、無闇に問題を解き続けるのではなく、間違えた点を復習し、的確に欠点を無くしていく学習を心がけました。

Q塾側はどのようなフォローをしてくれましたか？

A学習面でのサポートはもちろん、私の性格、気質を踏まえた上での精神的なアドバイスも提供してくれました。そのおかげで変に気張ることなく、自然体で日々の学習や受験に臨むことができました。

Q一番感謝を伝えたい先生は誰ですか？

か？

A長瀬先生です。先生は常に私の学習状況を把握し、的確に課題を提供してくれました。また、私の質問に對しても、理解できるまで熱心に解説してくださり、順調に学力を伸ばすことができました。先生に出会えなければ、私は志望校に合格することができていなかったでしょう。

Q印象に残っているのはどんなことですか？

A高校1年生の冬休みに、長瀬先生がやる気を失っていた私を叱つてくださったことです。あの時咎められていなければ、今頃私は1-TTOを辞めて惰性で生きていたことでしょう。

最後に、「私は1-TTOに通う以前、ただ日々を怠惰に過ごし、人生を浪費していました。しかし、1-TTOに通うようになってからは、先生方の熱心なご指導や、よきライバルの存在もあり、努力することの大切さや何かに取り組むことの楽しさがわかるようになりました。今では目標をもって日々を過ごすことに充実感を覚えています。1-TTO

に通うことができて、本当に良かったです。」と、熱く語ってくれたU君。夢である弁護士になるため、これから努力を続けてもらいたい。

■担当講師から一言

以前の記事でもお話した通り、Uくんは初めのころ、勉強のやり方が全く分からない状態でした。中学3年生の初めのころの偏差値は30未満、通知表にも「1」がついていました。しかし、こちらの提示することを一つ一つしっかりとこなしてくれ、真面目にとりくんでいる様子が見受けられました。結果、中学卒業時点で偏差値は55程度になっていました。しかも、これで満足せずさらに上を目指してくれ、高校に入ってからほぼ学年で1位をとり続けました。結果、学習院大学の法学部への合格を勝ち取ってくれました。きっかけ一つで、人は本当の意味で変わるんだということを、彼は改めて私に教えてくれました。今後、彼には当塾で塾講師として頑張ってもらいます。その中で、さらなる成長を遂げてもらいたいです。